

第21回日本水環境学会シンポジウム(2018年9月4-5日、於:島根大学松江キャンパス)

		A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	特別会場	玄関ロビー・中庭
9月4日(火)	午前 9:00～12:30	将来の水環境の変化と水供給の課題 (将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会)	オルガノセクション	環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術 (本部企画)	沿岸や水辺の環境保全研究の最前線、宍道湖・中海のいま (湿地・沿岸域研究委員会)		身近な自然を見る・観る・診る ～その実践と課題～ (身近な生活環境研究委員会)	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術 (電気化学的技術研究委員会)			受付 企業展示
	昼休み 12:30～13:30										
	午後 13:30～17:00	水・資源回収と水処理 (産業排水の処理・回収技術 研究委員会)	MS技術を使った環境微量化学物質の追求 (MS技術研究委員会)ポスター	農産業に関わる水・バイオマス利用のシステムを考える (農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会)	熱帯亜熱帯地域における地域の暮らしと沿岸域を含めた陸水環境の現状・課題 (熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会)	ツールボックスアプローチによる衛生学的な水質評価 (水中の健康関連微生物研究委員会)	嫌気性微生物を利用したプロセス研究の最新の動向 (嫌気性微生物処理研究委員会)	データは何を語るか?:フィールドノブプロセスデータからの機構解明と予測 (微生物生態と水環境工学研究委員会)ポスター	ノンポイント汚染研究成果の社会還元への展望 (ノンポイント汚染研究委員会)		
	17:10～17:50								メタウオータ賞受賞者講演		
	18:00～20:00	懇親会:ニコラ(島根大学学生食堂)									
9月5日(水)	午前 9:00～12:30				湖沼・河川をフィールドにした環境教育の実際と課題 (水環境教育研究委員会(WEE21))					特別講演 「中海・宍道湖の現状と課題」	受付 企業展示
	昼休み 12:30～13:30										
	午後 13:30～17:00	流域規模での化学物質管理:測定手法と影響評価(2) (水環境と洗剤研究委員会)	有用生物等の浄化機能評価を踏まえた環境保全再生対策技法のアジア展開新戦略 (生物膜法研究委員会)	今、地域の水環境行政を創造する (本部企画(戦略企画委員会)) (全国環境研協議会共催)	水環境をシステムとして評価する解析手法 —アンケート調査を中心に— (システム解析 委員会)	地表水が先か、LED-UVが先か ～UV技術の「明るい」未来～ (紫外線を利用した水処理技術研究委員会)	毒性削減評価(TRE)と毒性同定評価(TIE) (バイオアッセイによる安全性評価研究委員会)	日本の汽水域 その現状と課題 (汽水域研究委員会)	膜処理が生み出す、「新しい価値」 (膜を用いた水処理技術研究委員会)		

ポスターは会場内に掲示